

【研修No.363】 災害支援ナース養成研修（新プログラム）
募集要項

1. 目的

- ・災害・感染症等に関する基礎知識・技術を習得する
- ・応援派遣の概要を理解し、研修修了者として実際の派遣時に対応できる技能を習得する

2. 研修日時

オンデマンド研修：令和5年10月1日(日)～令和5年11月30日(木) 期間中に受講
 集合研修【災害】：令和5年12月13日(水)
 【感染症】：令和5年12月14日(木)

3. 集合研修会場

京都府看護協会研修センター 〒606-8011 京都市左京区高野泉町40-5

4. 対象

災害及び新興感染症の発生時に他の医療機関等に応援派遣されて、災害支援看護業務及び新興感染症支援看護業務に従事することを旨とする者

5. 定員：70名

6. 申込方法：WEB申込＋様式1提出

7. 申込期間：令和5年9月1日(金)～9月14日(木)

8. 提出書類：専用の申込用紙(様式1)

※令和5年9月14日(木)必着。提出が無い場合は研修申込受付が出来ませんのでご注意ください。

9. 提出先

〒606-8011 京都市左京区高野泉町40-5 京都府看護協会研修「災害支援ナース養成研修」

10. 受講料：無料

11. 修了証：オンデマンド研修20時間の修了と演習10時間を全て修了した者に対し、研修修了証を発行する

12. プログラム概要 ※集合研修の講師は現在調整中です 集合研修の詳細は13.演習プログラム参照

オンデマンド研修			講義(合計 20 時間)
A	総論	2 時間	災害・感染症に係る応援派遣の対応
B	災害各論	9 時間	災害医療の基礎知識、災害時に求められる看護支援活動 災害時の感染対策、災害時の心理的变化とこころのケア 災害時の看護職の活動事例
C	感染症各論	9 時間	新型コロナなど新興感染症の基礎知識 新型コロナなど新興感染症患者の治療と観察ポイント(軽～中等症) 新型コロナなど新興感染症患者の看護(軽～中等症) 新型コロナなど新興感染症患者の集中治療管理(重症) 新型コロナなど新興感染症患者の看護(重症)

集合研修(演習)			10 時間(2 日間)
1 日目	災害	講義：京都府における災害・感染症に係る応援派遣時の看護支援活動 災害支援ナースとしての心構え 演習：災害時の看護職の活動の実際	
2 日目	感染症	演習：感染拡大時の看護職の活動の実際	

*研修を修了された方については、日本看護協会ならびに京都府に修了者として報告いたします。その際、受講申込書の記載内容について併せて報告することとなりますのでご了承ください。

13. 演習プログラム

1 日目：令和 5 年 12 月 13 日(水)

演習：災害時の看護職の活動の実際

時間	プログラム	ねらい	講師
9:30～10:20 (50)	京都府における災害・感染症に係る応援派遣時の看護支援活動	災害時および感染症の発生・まん延時の看護職の活動の実際を想定することができる	都道府県行政担当者と調整中
10:20～10:30(10)	災害支援ナースとしての心構え	応援派遣に際し、受援者や支援者が相互協力するために必要な知識を学ぶ	京都府看護協会
10:30～10:40(10)	トイレ休憩		
10:40～11:25(45)	1)派遣決定から出発までの準備 (ワーク) ・派遣決定までの調整と準備 ・派遣決定から出発までの準備 ・携行品 ・活動の原則	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の看護職の活動の実際を想定することができる ・災害時に看護職として活動する際の基本的な心構えがわかる ・災害時の看護職の活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる 	金澤 豊 京都橘大学健康科学部 救急救命学科 助手 看護師・救急救命士 日本 DMAT 隊員
11:25～11:40(15)	2)支援者としての心構え		
11:40～12:25(45)	3)活動場所の違いによる活動の特徴(医療機関、避難所)		
12:25～13:25(60)	休憩		
13:25～14:05(40)	4)CSCA (TTT) (ワーク) ・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の看護職の活動の実際を想定することができる ・災害時に看護職として活動する際の基本的な心構えがわかる ・災害時の看護職の活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる 	金澤 豊(前掲)
14:05～16:05(120)	5)方針に沿った活動 (ワーク) ・救急搬送や発熱者等の対応 ・新たな活動を依頼されたら ・記録と報告 ・活動終了に向けて ・帰還後に行うこと		
16:05～16:10(5)	6)まとめ		

2日目：令和5年12月14日(木)：新型コロナなど新興感染症患者の看護

時間	プログラム	ねらい	講師
10:00～10:10 (10)	オリエンテーション		
10:10～11:10 (60)	1)感染拡大・重症化の 予防	医療機関、療養施設、高齢者施設、避難所、自宅など施設ごとの違いや特徴を踏まえた標準予防策およびゾーニングの基礎を学ぶ	村上 あおい 感染管理認定看護師 京都市立病院 副看護部長
11:10～12:10 (60)	2)安楽な呼吸の保持	感染予防策（PPEを装着）を実施した上で、安楽な呼吸へのケアや日常生活援助を体験的に学ぶ	植岡 敬紹 急性・重症患者管理専門看護師 京都第二赤十字病院 看護師
12:10～13:10 (60)	休憩		
13:10～14:10 (60)	3)集中治療室内で集中治療管理	集中治療室で使用される医療機器及び生体モニターの管理及び生じやすいトラブルについての基礎的な知識を学ぶ	植岡 敬紹（前掲）
14:10～14:40 (30)	4)多職種連携による医療提供	派遣先の医療機関等における指揮命令系統や各専門職が担う役割を理解し行動が出来る	植岡 敬紹（前掲）
14:40～15:10 (30)	5)患者・家族へのケア・看取り	応援派遣の際に生じる事例を通して、隔離による不安、意思決定支援、看取りケア、死亡時の対応を理解する	植岡 敬紹（前掲）
15:10～15:40 (30)	6)まとめ		村上 あおい(前掲)